

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路整備課
担当課長名：寺澤 文彦

事業名	主要地方道 鳴門池田線 共進～新町		事業区分	主要地方道	事業主体	徳島県	
起終点	自：徳島県阿波市阿波町西林 至：徳島県美馬市脇町大字脇町			延長	5.1km		
事業概要 主要地方道鳴門池田線は、鳴門市から4市3町を経由し、三好市に至る延長約75kmの幹線道路である。整備区間の現道は、第2次緊急輸送道路にも指定されているが、幅員狭小で線形不良であるため通行に支障をきたしており、また通学路にもかかわらず歩道がないなど、交通安全上も危険な状況となっている。このため、地域間交流の活性化、緊急輸送道路ネットワークにおける多重性の確保、周辺地域の活性化や通勤通学の安全確保を図るために整備するものである。							
平成10年度事業化		-		平成10年度用地着手		平成10年度工事着手	
全体事業費	85 億円		事業進捗率	83 %		供用済延長	3.3 km
計画交通量	12,700台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用：(残事業)/事業全体 9.6/118.1億円		総便益：(残事業)/事業全体 32.3/150.4億円		基準年： 平成29年	
	(残事業)	事業費：9.2/116.3億円 維持管理費：0.4/1.8億円		走行時間短縮便益：24.9/138.5億円 走行経費減少便益：6.1/10.9億円 交通事故減少便益：1.2/1.0億円			
感度分析の結果	【事業全体】交通量：B/C=1.2～1.4 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.2～1.4 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3～1.3 (事業期間±1年)			【残事業】交通量：B/C=3.0～3.7 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.9～3.6 (事業費±10%) 事業期間：B/C=3.2～3.5 (事業期間±1年)			
事業の効果等 ■ 国土・地域ネットワークの構築：平常時の東西を結ぶ幹線ネットワーク、観光アクセスなどの地域間交流の活性化、効率化。 ■ 災害への備え：徳島県北部の東西を結ぶ第2次緊急輸送道路ネットワークの多重性(リダンダンシー)確保。 ■ 安全で安心できる暮らしの確保：歩道未整備区間におけるバイパス道路構築による自転車・歩行者の安全確保。							
関係する地方公共団体等の意見 ■ 当該事業箇所の地元住民等から、現道の幅員狭小による不便さや歩行者等への危険を感じている意見が多く、当事業を実施することにより、これらの解消に期待が寄せられている。							
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 ■ 平成12年12月に、道の駅「藍ランドうだつ」開駅 ■ 平成17年3月に、市町村合併（脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村）による美馬市が発足 ■ 平成21年5月に、西工区約3.3km供用。これにより沿線に商業施設等が70程度出店(H27センサス13,936台/日) ■ 平成25年4月：「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」が観光圏(美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町)に認定							
事業の進捗状況、残事業の内容等 ■ 平成28年度までに全延長5.1kmのうち国道193号以西の約3.3kmが供用済で、用地進捗率99%、事業進捗率83%となっている。 ■ 残事業は国道193号以东の橋梁2橋を含むバイパス部の1.8kmの整備。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ■ 未取得用地については、土地収用制度を活用するなど、早期に用地取得を完了し、今後、工事促進を図ることで、平成34年度の供用を目指す。							
施工の構造や工法の変更等 ■ 近隣新町谷川の堆積土砂の盛土材への有効利用等。							
対応方針	事業継続						
対応方針の決定理由	・以上の事業効果等を踏まえると、事業の必要性、重要性は高い。						
事業概要図 							

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。